

神戸大学都市安全研究センター 平成 26 年度オープンセンター
神戸大学都市安全研究センター発
“みんなで考えよう 安全・安心で快適なまちづくり”

開催速報

平成 26 年度の都市安全研究センターのオープンセンター 神戸大学都市安全研究センター発 “みんなで考えよう 安全・安心で快適なまちづくり” を、11 月 1 日（土）11:00～17:00 に神戸市役所との共催で神戸ハーバーランドにあるスペースシアターにて開催した。来訪者は約 241 名であった。

まず、都市安全研究センター長の北後明彦先生から開催の挨拶があり、都市安全研究センターの組織や活動の紹介と、オープンセンターの趣旨について説明がなされた。



北後先生の挨拶（オープニングセレモニー）

引き続き、神戸市住宅都市局による「防災啓発ポスター」の「すまいの耐震化賞」の表彰式が行われ、受賞者に、表彰状、記念品が授与された。当日は展示された入賞作品の前で、同伴の保護者の方々と記念撮影も行われた。



防災啓発ポスターの表彰式の様子

その後、神戸市住宅都市局総務部耐震化促進室の重松裕幸氏によるミニ講演会“地震に自信ありますか？—すまいの耐震化—”が行われました。阪神大震災当時の被害状

況の説明とともに、耐震化工事の有無による住宅の揺れ方の違いに関する大型振動台実験映像を紹介しており、地震への備えの重要性を確認させられた。



重松氏によるミニ講演会

午後からは、神戸市消防局のボランティアグループ「チーム TEC 安2」による“あなたの勇気が命を救う～AEDと心肺蘇生法を体験しよう～”と題したミニ講習会が行われた。実際に心肺蘇生が必要な現場に遭遇した場合の手順について、寸劇風の実演に加えて、泰地英雄代表が丁寧な説明を加えており、分かりやすい内容で、心肺蘇生法がより身近なものとなったと感じた。



寸劇風ミニ講習会の様子

また、ミニ教室として、都市安全研究センター教授の飯塚敦先生による“防災・減災国土強靱化におけるジオシンセティクス補強工法の活用”を開催した。ジオシンセティクスで土を補強することで、地盤を強固にすることができ、それによって遊休地となっている土地の有効活用が可能であることを説明された。



飯塚先生によるミニ教室

並行して、フロアでは 12 ブースで様々な実演・体験コーナーが設けられ、神戸市・神戸市すまいの安心支援センターや消防局の皆さん、教員、学生によるデモや解説が行われた。



<あなたのすまいは地震が来ても大丈夫ですか>



<災害に強い社会を目指して～地震による災害と復旧活動を支える道路の維持・高耐久化>



<活断層を立体的に見てみよう！>



<京阪神の洪水災害に備えて安心・安全>